

# 第5学年 国語科学習指導案

平成30年11月15日(木)

米沢市立塩井小学校

指導者 畠田 妃佳里

## 1 単元名「塩井小学校の魅力をすいせんするスピーチをしよう」

教材名『すいせんします』(光村図書)

## 2 単元目標

(1)「すいせんのスピーチをしよう」という活動を通して、自分たちの学校の魅力を再発見するという目的を持ちながら、理由を明確にして推薦のスピーチを考えたり、友達のスピーチを聞いたりしている。

(関心・意欲・態度)

(2) 推薦するもののよさが伝わるように理由を明確にしなが、構成の仕方を工夫してスピーチをしたり、友達のスピーチのよさに気づいたりすることができる。

(話す・聞く能力)

(3) 話し言葉と書き言葉の、働きや特徴の違いに気づいて話すことができる。

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

## 3 教材について

推薦とは「自分がよいと思う事物や人物を他の人にすすめる」ことであり、紹介を発展させたものである。対象の特徴をよく理解し、そのよさを相手に説明し、推薦した事物や人物を実際に選んでもらえるように働きかけることが要求される。そのためには、対象について十分調べ、そのよさを整理して伝えるために、理由を説明したり、エピソードとなる事例を挙げたり、図解するなどして印象付けるように話すことが求められる。そして、全体の構成も工夫しなければならない。一方、聞き手も推薦した理由がよく分かるか、納得できるか、話し手はどのような工夫をして説明しているかなど考えながら聞くことが求められる。

以上のことから、目的・相手意識を持って効果的な推薦の仕方に気づいたり、聞き手として積極的に聞いたりできるのに適した教材である。教材での学習を通し、今後の学級活動や児童会活動での推薦活動に生かしていきたい。

## 4 児童について(男子14名、女子6名、計20名)

全体的に声が小さく、語尾まではっきり話すことができず、理由を明確にしたり、経験などを入れて自分の思いや考えを人に伝えたりすることが苦手な児童が多い。「～さんと同じで」「違って」と話形を使った話し方はできるが、様々な意見や考えをまとめることや考えを関連づけて整理して話すことは難しい。聞くことに関しても、聞き取った内容に対して質問や感想を言う児童もいるが、相手と自分の考えを比較して聞く、納得いくまで聞くというまでには至っていない。これまでの話す、聞く学習では、友達のことをクラスに紹介する学習や、活動報告書や提案書を書くためにグループで話し合う学習に取り組んできた。紹介するために事前に考えた質問をしたり、報告や提案をする事柄の現状や問題点、理由について自分の考えを述べたりすることができた。また、話の流れに沿って質問を追加する、友達の意見を聞いてさらに自分の考えを述べるという児童も数名いた。

以上のことから、児童の実態として相手と自分の考えを比較関係づけたりしながら聞く、話すといったつなげて考える力は十分に身に付いていない。

## 5 指導にあたって

研究全体テーマ(=置賜で育てたい資質・能力)

課題解決の過程において、

つなげて考え、根拠を明確にして表現する力 の育成

### 【つきたい力と言語活動】

本単元では、「話すこと・聞くこと」の指導事項ア「考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付けること」、イ「目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと」を重点的に指導する。そこで、本単元でつきたい力を「自分の伝えたいことが明確に伝わるように理由や話の構成を考え、効果的に伝える力」とし、そのために、言語活動として「塩井小学校の魅力をすいせんするスピーチをする」と位置付けた。

自分たちの学校の魅力を改めて考え直しながら再発見し、最高学年である6年生に推薦して塩井小学校の魅力を認めてもらうという目的意識、相手意識を持たせることで、単元を通して意欲的に取り組めるようにした。推薦した学校の魅力についてのスピーチを6年生に聞いてもらい、納得してもらえた場合「塩井小ブランド」として承認されることとし、今後も大切にしていきたいようにする。3次では、承認された「塩井小ブランド」のコンセプト（よさをまとめたスローガンのようなもの）を自分たちで決めていく活動を仕組む。友達や自分の伝えたいことをつなげて考え、適切に表現する言葉を選ぶことで、学習を振り返り学んだことを自覚し、達成感を味わえるようにする。

### 【指導にあたって特に留意する点】

#### ①伝えたいという思いをもたせる単元構成の工夫、実生活のつながり

- ・「伝えたい」という思いを持たせるために、「校長先生に塩井小学校の魅力を教える」ことをゴールの姿とした。そのために、第2次で「塩井小学校の魅力を考える」→「最高学年である6年生にスピーチをして、魅力を塩井小ブランドとして認めてもらう」活動を仕組み、目的意識や相手意識を明確に持って学習できるようにする。第3次では、承認された塩井小ブランドのコンセプトを話し合いによってまとめ、校長先生に報告する。本単元を通し、伝えたいことを伝えることができた達成感や、伝えるためには構成の工夫が大切であることを学び、実生活につなげていきたい。

#### ②付けたい力がより効果的に身に付くための学習形態の工夫

- ・理由や全体の構成について4人グループで交流を行う。「魅力が伝わるような内容や構成になっているか」という視点のもと、良い点やアドバイスを伝える。アドバイスされたことは、全て自分のスピーチに取り入れるのではなく、自分が納得できるのかどうか、スピーチがよりよくなるのかどうかを考え、取り入れるようにしていく。理由を明確にして話したり、友達の考えに関連させて話したりする交流の姿を目指していく。また、スピーチの様子はタブレットで撮影し、自己評価に生かせるようにする。

#### ③付けたい力に迫る指導内容の焦点化

- ・聞き手が納得できるような理由を挙げることや、話の構成を工夫することができるように、どのような要素が必要かを子どもたちと確認して、その要素を使ってスピーチができるようにする。また、教材文から見つけた内容や構成の工夫をまとめ、教師がスピーチの良い例、悪い例を示し、どのような内容や構成にすると魅力が伝わるのかを考えさせていく。そして、質問や意見を述べるができるように、メモを取りながら話の内容を捉えさせ、「魅力が伝わる内容や構成になっているか」という視点で聞くことができるようにする。

### 6 指導計画（全9時間 本時5/9）

段階	時間	主な学習活動	【評価の観点】評価規準（評価方法）
第一次	1	塩井小学校の魅力を推薦するという単元全体の学習の見通しを持つ。	【関・意・態】6年生に塩井小学校の魅力を推薦するという活動の見通しを持つようとしている。 (発言・ノワークシート)
第二次	2	「すいせんします」を読み、説得力のあるスピーチについて考える。	【関・意・態】事物を推薦するために必要な事柄に気づき、話したり聞いたりしながら学習の見通しを持つようとしている。(発言・ワークシート)
	3	推薦する事物の魅力を伝えるために、目的や条件を考えながら理由をまとめる。	【話・聞】目的に照らし合わせて必要な条件は何か考え、理由をまとめている。(観察・ワークシート)
	4	推薦理由を明確にするために、取材したことをもとに内容や構成を考え、スピーチメモを作る。	【話・聞】収集した情報を整理・分析して推薦する理由として考えをまとめたり、聞き手が納得できるように内容を構成したりしている。(ワークシート)
	5 (本時)	スピーチメモをもとにスピーチを行い、推薦する理由が明確か、効果的な構成になっているか検討する。	【話・聞】スピーチメモをもとに、聞き手が納得できる理由や構成になっているかについて、よさやアドバイスを伝えて、スピーチを考えている。(発言)

	6	自分の考えがよく伝わるように工夫して、スピーチの練習をする。	【伝】書き言葉と話し言葉の働きや違いに気づき、適切な言葉遣い、声の強弱・速さ・間の取り方などを意識して練習している。(観察)
	7	6年生にスピーチをする。	【話・聞】推薦したい気持ちや思いが伝わるようにスピーチをしている。また、話し手の推薦した理由が納得できるかどうかを考えながら聞き、感想を伝えている。(発言・ワークシート)
第二次	8	スピーチの内容をもとに、塩井小ブランドのコンセプトを考える。	【話・聞】推薦のスピーチをもとに、理由を明確にしながらどのようなコンセプトにするのか考えを述べている。(発言)
	9	学習を振り返り、「説得力のある推薦のしかた」について学習のまとめをする。	【関・意・態】学習を振り返り、よかった点や課題について感想や意見を述べている。(発言・ワークシート)

## 7 本時の指導

### (1) 目標

スピーチメモの構成の要素と内容について話し合う活動を通して、塩井小学校の魅力について聞き手が納得するようなスピーチを考えることができる。

### (2) 本時の視点

- ①自分が推薦したいことについて、構成の要素に着目しながら文章のつながりを考える。
- ②推薦したい事柄の魅力が伝わるような構成の工夫をする。

### (3) 指導過程

時間	学習活動、[○]主な発問や指示、[・]期待する反応	[・]指導上の留意点、[☆]評価(方法)
10分	1. 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           自分や友達になるほどと思える「塩井小の魅力をすいせんするスピーチ」になっているのか考えよう。         </div>	・ <u>よさやアドバイスを伝え合うための交流の視点について確認する。</u>
25分	2. スピーチを発表し、スピーチメモをもとにグループで話し合い、スピーチメモに書き加えていく。 ○スピーチを発表して、交流の視点にそって、よさやアドバイスを伝えましょう。 ・写真を最初に見せる構成にしたらいいと思います。そうすると、これから話すことに興味を持てると思います。 ・どうしてそのことを推薦するのか、○○を一番の理由にしたほうがいいと思います。理由は～だからです。そして、そこに事実を付け加えるといいと思います。 ・でも、Aさんは□□を伝えたいから、順番をこのようにした方がいいのではないですか？ ・～と話していましたが、Bさんの思いをより伝えるためには、その時の気持ちや様子をもっと詳しく話すと言説力が出てくると思います。	・発表→質問→よさ・アドバイスという流れで話し合いを進めていく。 ・ <u>グループごとにホワイトボードを使用し、発表者のスピーチについて、よさや改善点を記入するなどしながら、全員で確認できるようにする。</u> ・アドバイスされたことについては、自分のスピーチメモに書き加えていく。 ☆話し合いを通して、聞き手が納得できる理由や構成になっているかについて、スピーチメモをもう一度見直し振り返ることができる。(ノート)

10分	<p>3. 本時の振り返りをする。</p> <p>○学習の振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで構成について話し合いをした。事実や資料などの要素の順番や組み合わせを考えることで、聞き手が納得できるスピーチにすることができた。経験や気持ちをより具体的にすることが大事だと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いを通し、自分のスピーチがどのように変わったのかを中心に振り返りを書かせていく。</li> </ul>
-----	--	--

#### (4) 板書計画

<p style="text-align: center;">構成の要素</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成の考え</li> <li>・ 理由</li> <li>・ 事実</li> <li>・ 資料</li> </ul> <p style="text-align: center;">構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成の要素の順番</li> <li>・ 構成の要素の文量</li> <li>・ 構成の要素の内容</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">塩井小学校の魅力を すいせんするスピーチをしよう</p> <p style="text-align: center;">めあて</p> <p>自分や友達がなるほど思える「塩井小の魅力をすいせんするスピーチ」になっているのか考えよう。</p> </div>
--	---

#### 8 成果と課題 (○成果 ▲課題)

##### ①「伝えたいという思いをもたせる単元構成の工夫、実生活のつながり」について

○「校長先生に塩井小学校の魅力を伝える」ことを言語活動のゴールとしたことで、単元を通して主体的に活動に取り組むことができた。また、第2次で「最高学年である6年生にスピーチをして、魅力を塩井小ブランドとして認めてもらう」活動を仕組んだことで、目的意識や相手意識を明確に持って、自分の思いが溢れたスピーチを完成させることができた。

▲第3次の承認された塩井小ブランドのコンセプト（よさをまとめたスローガンのようなもの）をまとめる活動では、コンセプトの捉えが曖昧だったため、話し合いが行き詰まってしまった。「共通する部分を関連させ、その言葉がコンセプトの言葉としてふさわしいかどうか」という視点を強調して話し合いに臨ませるべきであった。

##### ②「付けたい力がより効果的に身に付くための学習形態の工夫」

###### 「付けたい力に迫る指導内容の焦点化」について

○交流では、掲示物をヒントにしなが、グループでスピーチをじっくり聞き、尋ね、問い返しなが、構成の要素や要素同士のつながりについて、友達の思いを自分事として受け止め、内容を広げたり新たなアイデアを出す姿が見られた。

○色別の付箋を準備し、理由や事実を書くことで、内容を加筆修正したり、入れ替えたりすることができた。そして、話し合いによって一番伝えたいことを明確にすることにつながった。

▲検討したスピーチが交流を通して良くなったのか、また、どのようなアドバイスが良かったのかを確認する場が必要だった。前後のスピーチを動画で比較する、良いグループの話し合いを紹介するなどして、よさを実感できるような手立てが必要だった。振り返りで学習を価値づけることを意識していきたい。

▲理由と事実のつながりのないもの、文章と資料が一致していないものがあった。グループで理由と事実の整合性を再度振り返らせたり、教師が適宜支援したりすることが大切である。

▲構成を変えることに意識が向きすぎて、かえって伝えたいことがぼやけてしまうこともあった。交流する前に、自分がこだわったポイント（理由や事実、構成の工夫など）について明示してから交流するということも考えられる。

# 第3・4学年 国語科学習指導案

平成30年12月18日(火)

小国町立叶水小学校

指導者 川村 千穂

## 【第3学年】

1 単元名 調べてほうこくしよう 「町の行事についてしらべよう」(教育出版 3下)

### 2 単元の目標

- (1) 学校行事で経験したことをもとに詳しく調べて報告しようという思いを膨らませ、調べたりいろいろな資料を集めたりして全校生に分かりやすく説明しようとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 学校行事について知りたいことや知らせたいことをインタビューしたり、調べたりして、必要な図や写真、表などの資料にまとめ全校生に伝えたいことが伝わるように報告することができる。(話すこと・聞くこと)
- (3) 資料の内容をわかりやすく説明することができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

### 3 教材について

本単元では、自分達が経験した学校行事について、さらに詳しく知りたいことや知らせたいことのインタビューや調べ学習を行い、報告に必要な図や写真、表などの資料を作成して、わかりやすく発表することをねらいとしている。

「町の行事について調べよう」は、町の行事について必要な事柄について調べたいことを話し合い、調べる方法を考え、実際に調べていく活動を通して、インタビューやメモ、資料を収集する力を育てることができる教材である。さらに、その資料を整理し、活用しながら示し方を工夫して話せるような展開となっている。資料の集め方、発表の仕方などを教材の台本と比べながら工夫させていきたい。

### 4 児童について(女子1名)

本学級の児童は、7月に「たからものをしょうかいしよう」の学習で、実物を示したり、理由を挙げて順序を考えて発表したりする学習を行った。相手意識や目的意識をもち、効果的な発表の仕方について考えることができた。しかし、本単元のように調べるための方法や発表するための方法を考えてまとめ、報告するという形の学習は初めてである。教師と一緒に学習計画を立てて主体的に学習を進めるとともに、どのような方法があるのかを提示したり、話し合ったりしながら資料の作り方や発表の仕方を考えていきたい。

また、調べる活動の中にインタビューを取り入れ、質問をしたり受けて答えたりする学習に取り組む。相手の顔を見てはっきりと話したり聞いたりすることやメモをとりながら聞くことはできるので、聞いたことの中から伝えたいことを選び、効果的にまとめて、資料を活用しながら工夫して話す力が身に付くよう学習を進めていきたい。

### 5 指導にあたって

研究全体テーマ(=置賜で育てたい資質・能力)

課題解決の過程において、

つなげて考え、根拠を明確にして表現する力 の育成

本単元では、「話すこと・聞くこと」の指導事項イ「相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと」を重点的に指導していく。そのために、言語活動として、「全校生に学校行事について詳しく調べたことを、写真や図や表などの資料をもとに報告すること」を位置付けた。

全校生に学校行事について詳しく調べたことを報告するという相手意識、目的意識をもたせることで、単元を通して意欲的に発表に取り組めるようにした。また、自分が経験した身近な学校行事を題材にもってくることで、みんながすでに知っていることではなく、新しいことや詳しいことをインタビューや調査活動で調べたことを通して、自分が考えたことを伝えていくという必要感をもたせるようにする。

本時では、発表のポイントに沿って台本を見直す活動を通して、伝えたいことが伝わる報告になっているか

を根拠をもとに考えていく。3年児童は1人であるため、教師とともに発表台本を作り上げ、4年生との交流場面を設定し、話の中心に気をつけて聞く力や視点に沿って感想を述べる力を伸ばすことができるようにする。

## 6 単元の指導と評価の計画(9時間扱い 本時8時目)

段階	教時	主な学習活動	評価
第1次	1 ・ 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>「全校生に学校行事について調べたことを報告する。」という学習課題をとらえ、単元全体の学習計画を立てる。</li> <li>経験した学校行事を振り返り、調べて全校生に知らせてみたいことをたくさん出し合う。</li> </ul>	<p><b>【関・意・態】</b> 学校行事で経験したことをもとに詳しく調べて報告しようという思いを膨らませている。</p> <p>(ノート・観察)</p>
第2次	3 ・	<ul style="list-style-type: none"> <li>図や写真、表など、発表に使いそうな資料を考える。</li> <li>資料を集める方法を知り、資料を集める</li> </ul>	<p><b>【話す・聞く】</b> 学校行事について知りたいことや知らせたいことをインタビューしたり、調べたりして、必要な図や写真、表などの必要な資料を集めている。</p> <p>(発表や調べ学習の様子・集めた資料・学習プリント)</p>
	4 ・		
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が伝えたいことをもとに発表で使う資料を話し合っ</li> </ul>	
	6 ・ 7 ・ 8 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表台本を作成する。</li> <li>発表台本をもとに話し合い、伝えたいことが伝わるような発表内容の工夫を考える。</li> </ul>	<p><b>【話す・聞く】</b> 聞き手に分かりやすい資料を使った発表内容を考えている。</p> <p>(発表の様子・台本への書き込み)</p>
第3次	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し方の工夫について考え、発表の練習をする。</li> </ul>	<p><b>【伝】</b> 分かりやすく説明することができる。</p> <p>(発表練習の様子)</p>
	昼休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校生に発表会を開き、感想や意見を交流する。</li> <li>単元を通して身に付いたことを自己評価する。</li> </ul>	<p><b>【関・意・態】</b> 発表について自己評価したり、話すこと聞くことの日常化への意欲を高めたりしている。</p> <p>(観察・振り返りカード)</p> <p><b>【話す・聞く】</b> 全校生に分かりやすく報告することができる。(発表の様子・聞く様子)</p>

## 7 本時の指導

### (1)目標

「伝えたいことが伝わるか」「聞き手をひきつけるか」について話し合う活動を通して、伝えたいことが伝わる報告にするための工夫を考えることができる。

### (2)指導過程

※別紙1 参照

### (3)板書計画

※別紙2 参照

## 【第4学年】

1 単元名 ポスターを使って発表しよう「調べてわかったことを発表しよう」(教育出版 4下)

### 2 単元の目標

- (1) ポスターセッションに意欲的に参加しようとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 理由や事例をあげて資料をもとに伝えたいことをわかりやすく話したり、資料を見ながら話の中心に気を付けて聞いたりすることができる。(話すこと・聞くこと)
- (3) 調べたり、ポスターを書いたりする時に、意味のよくわからない言葉を辞典で調べることができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

### 3 教材について

本単元では、便利だと思えるものについて調べたことを、写真やグラフなどの資料をもとにポスターセッションで筋道を立てて説明したり、話の中心に気を付けて聞いたりすることをねらいとしている。

「調べてわかったことを発表しよう」は、前単元の説明文『『便利』ということ』の学習で、便利とはどのようなことかを深めた視点から、自分たちにとって身近な施設や設備の中で「便利だと思えるもの」について調べて発表できるように関連させた教材である。分かりやすく伝えるために、文章や写真、絵、図、グラフなどを効果的に視覚化してポスターにまとめ、それらの資料を示しながら発表できるようにしていく。ポスターセッションによる発表会を作り上げるまでの過程と方法を流れにそって学べるように構成している。この教材を活用し、ポスターを使った発表の特徴と発表の進め方を理解させていく。

### 4 児童について(男子2名)

本学級の児童は、4月に「くらべて話そう」7月に「写真をもとに話そう」の教材で、インタビューをしてまとめた表や写真をもとにして友達やお家の人、先生方に伝える学習を行ってきた。この学習活動を通して、気付いたことや思ったことを伝えるために構成を考えて分かりやすく話すよう工夫することができた。また、理由をもとに話したり、伝えたいことを要約して話したりすることができるようになってきた。

本単元の教材文「調べてわかったことを発表しよう」で、ポスターセッションを行うことは初めてとなる。これまで学んできた「要点を読み取る学習」をポスターで表現する際に生かしていきたい。また、楽しんで学習に取り組ませるために、自分達で立てた計画をもとに見通しをもって学習を進めていきたい。

ペアで発表について話し合う場面では、感想を述べる学習は行ってきたが、話し手の思いが明確に伝わるかについて意見を述べ合う経験はない。本単元では、自分が一番伝えたい思いを明確にしてそれを伝えるために工夫して発表する力や、話し手の伝えたい思いが伝わるかを中心に聞いて感想や意見を述べ合う力を身に付けることができるようにしたい。

### 5 指導にあたって

**研究全体テーマ (=置賜で育てたい資質・能力)**

課題解決の過程において、

つなげて考え、根拠を明確にして表現する力 の育成

本単元では、「話すこと・聞くこと」の指導事項イ「相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと」、指導事項エ「話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること」を重点的に指導していく。そのために、言語活動として、「ポスターにまとめて発表すること」を位置付けた。ポスターで伝えるには、伝えたい要点をおさえて簡潔に表現する必要がある。そこで、「便利だと思えるもの」を自分の経験や見たこと聞いたことの中から思い出し、まずはイメージをたっぷり広げるようにする。その中から「自分が一番伝えたいことは何か。」を選び、ポスターの内容を考えることができるようにする。

「全校生に便利だと思えることをポスターセッションで説明する」という相手意識や目的意識を明確にし、発表を聞いて感想や意見をもらうことで、「伝えたい」「伝えてよかった」という思いを実感できるようにする。

本時では、ペアで資料の順番について意見を述べ合う活動を設定することで、「自分が一番伝えたいこと」が聞き手に伝わる発表の構成について、理由を示しながら考えを深めていきたい。

6 単元の指導と評価の計画(10時間扱い 本時8時目)

段階	教時	主な学習活動	評価
第1次	1 ・ 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『『便利』ということ』の学習で深めた視点から、「便利だと思うこと」を考え、発表し合う。</li> <li>・『『便利だと思うもの』のポスターセッションを行い、全校生に感想をもらう。」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</li> <li>・ポスターセッションのやり方を知る。</li> </ul>	<p><b>【関・意・態】</b> 「ポスターを使って発表すること」に関心を持ち、便利だと思うものについて考えようとしている。 (ノート・観察)</p>
第2次	3 ・ 4 ・ 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な道具や公共の施設、設備の中から調べることで調べる方法を考える。</li> <li>・自分の計画に沿って、課題について調べる。</li> <li>・自分が伝えたいことをもとに発表で使う資料を話し合っ て選ぶ。</li> </ul>	<p><b>【話す・聞く】</b> 必要な図や写真、表などの必要な資料を集め、ポスターにまとめている。 (発表や調べ学習の様子・集めた資料・学習プリント)</p> <p><b>【伝】</b> 調べたり、ポスターを書いたりする時に、意味のよくわからない言葉を辞典で調べている。 (ノート・観察)</p>
	6 ・ 7 ・ 8 (本時) 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことの中から自分が一番伝えたいことを選び、ポスターの内容を考える。</li> <li>・伝えたいことが伝わるような構成を考える。</li> <li>・ポスターの清書をする。</li> </ul>	<p><b>【話す・聞く】</b> 聞き手に分かりやすいポスターを使った説明の工夫を考えている。 (発表の様子・発表チェックカード・助言の様子)</p>
第3次	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し方の工夫を考え、発表の練習をする。</li> </ul>	<p><b>【話す・聞く】</b> 自分が伝えたいことが伝わるポスターを使った説明ができる。 (練習の様子)</p>
	昼休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参観日に発表会を開き、感想や意見を交流する。</li> <li>・単元を通して身に付いたことを自己評価する。</li> </ul>	<p><b>【関・意・態】</b> 発表について自己評価したり、話すこと聞くことの日常化への意欲を高めたりしている。 (観察・振り返りカード)</p> <p><b>【話す・聞く】</b> 全校生に分かりやすくポスターを使った発表をしたり、話の中心に気を付けて聞いたりしている。 (発表の様子・聞く様子)</p>

7 本時の指導

(1)目標

理由をもとに話し合う活動を通して、ポスターを使って伝えたいことを伝えるための話の構成を考えることができる。

(2)指導過程

※別紙1参照

(3)板書計画

※別紙2参照



わたり指導計画 (別紙1)

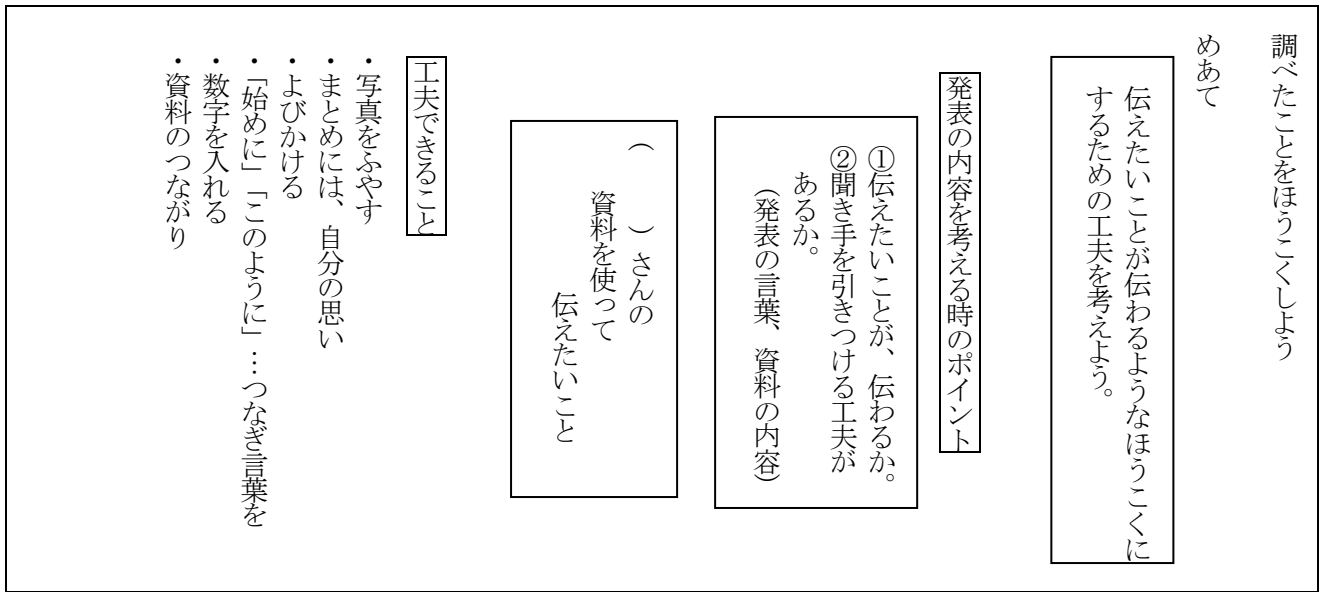
【第3学年】

【第4学年】

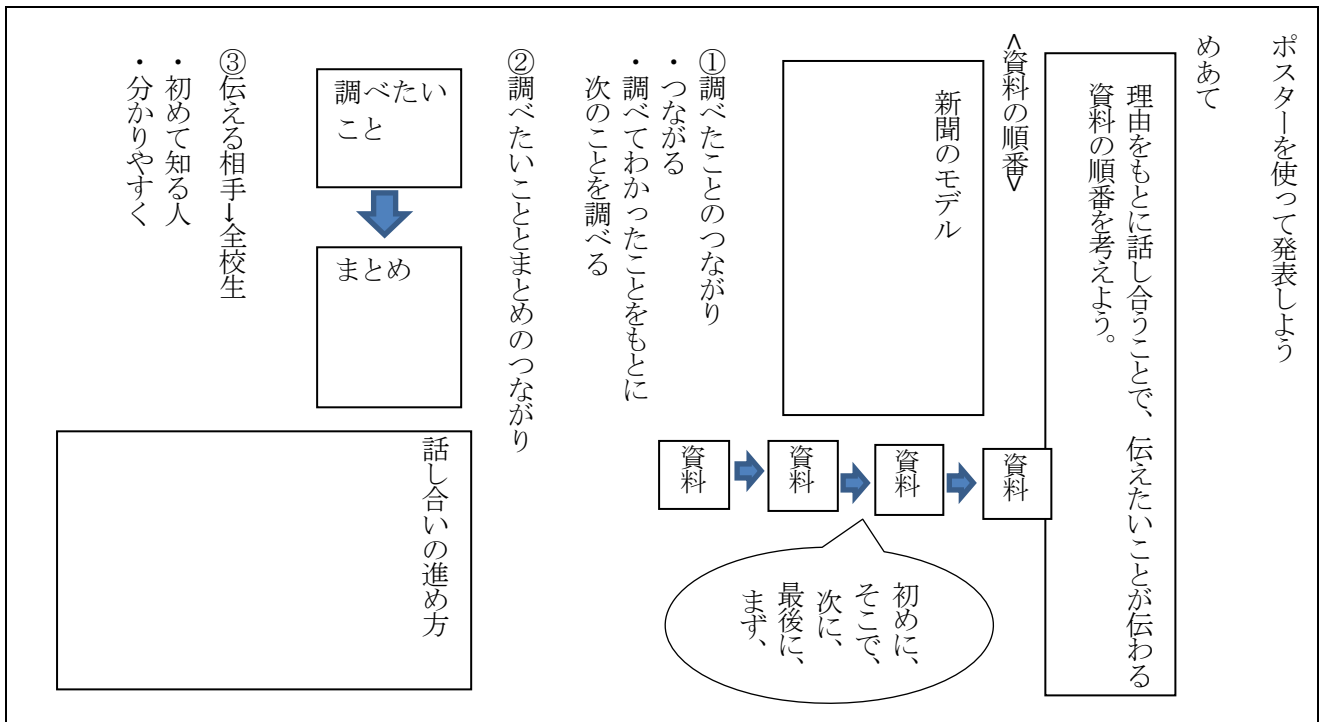
支援、留意点 (・) 評価 (☆)	主な発問 (○) や指示 (△)、 期待する反応 (・)	直	間	主な発問 (○) や指示 (△)、 期待する反応 (・)	支援、留意点 (・) 評価 (☆)
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で立てた単元の学習計画をもとに今日の学習内容を確かめる。</li> <li>タブレットを用いて、順番を考えながら資料を提示したり、撮った動画を見せたりする。</li> </ul>	<p><b>1 学習の準備をする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分で作った発表台本を読み返し不安だったところを見直す。(発表例) これから、私の発表を始めます。私は、「全校わらびとり」について調べました。「全校わらびとり」は、〇年も前から続けられてきた学校行事です。まず、参加した子どもたちの声を聞いて下さい。(録音を流す) 全校わらびとりは、どれくらい人気があると思いますか。アンケートを取ったので、このグラフを見てください。(グラフを示す) ~</li> </ul>	間	直	<p><b>1 本時のめあてを確認する。</b></p> <p>△伝えたいことが伝わるように、資料がつながっているか不安だと言っていました。友達と話し合って資料の順番を考えましょう。</p> <p>△今日のめあてを確認しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて理由をもとに話し合うことで、伝えたいことが伝わるような資料の順番を考えよう。</p> </div> <p>△資料の順番を考える時に大事なことを確認しましょう。</p> <p>○みんなが伝える相手は、誰ですか? ・全校生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の順番を考えさせることで、相手を意識し分かりやすく伝えること、説明に合った資料を使うこと、資料と資料のつながりに気付かせる。</li> <li>次の点を確認する 「調べてわかったことをもとに、次のことを調べている。」 (資料のつながり・接続詞) 「初めの調べることと最後のまとめはつながっている。」 「初めて聞く人がわかるような順番にする。」 (始めは説明など)</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて 伝えたいことが伝わるような報告にするための工夫を考えよう。</p> </div>	<p><b>2 本時のめあてを確認する。</b></p> <p>△今日のめあてを確認しましょう。</p>	直	間	<p><b>2 それぞれの発表を聞いて、資料の順番について理由をもとにして友達と話し合う。</b></p> <p>(発表者) ・これから発表を始めます。わたしは、この点字が誰にとってどのように便利なのかを調べました。</p> <p>初めに、この写真を見て下さい。点字はこのようなおもちゃや生活用品にもついていることがわかります。</p> <p>次に、点字が町の中で役に立っているのかを、役場の人に伺いました。(役場の方へのインタビュー) 点字は目の不自由な人にとっては欠かせない物であると教えてくださいました。</p> <p>(資料の順番を相談して考える) ・点字って、何のことかわからない人もいるから、「点字ってなあに？」の資料が一番初めに持ってきた方がいいよ。 ・点字が無かったら困るという目の見えない人の実際の話は最後に持ってきて、まとめにつなげるといいね。</p>	<p>&lt;話し合いの仕方&gt; (2人で) ①1人ずつ発表が終わったら一緒に資料の順番を考える(理由を付けて) (1人で) ②見出しと資料と説明の内容があうように見直す。 ③前の資料とのつながりを考えて、次の資料のはじめの言葉を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前の資料とのつながりを考えて、次の資料のはじめの言葉を考える時は、接続詞を入れるようにする。(初めに、次に、そこで、最後に)</li> <li>活動が進まない時は、ヒントカードを与えていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の内容を考える時のポイントに沿って考える。</li> <li>①伝えたいことが伝わる発表か。</li> <li>②聞き手をひきつける発表か。(発表の言葉、ポスターの内容)</li> </ul>	<p><b>3 発表のポイントをもとに、伝えたいことが伝わる報告にするための工夫を考える。</b></p> <p>△発表してみましょう。</p> <p>○自分の報告で、一番伝えたいことは何ですか。 ・全校わらびとりはみんなが楽しみにしている行事だということを分かってもらいたい。</p> <p>○○さんが伝えたいことは、どの部分で伝えようと思っていますか。 ・インタビューした時「みんなが楽しみです。」と言っていた所を動画で流すから伝わると思います。</p> <p>○聞き手の興味を引きつけるためにどんな工夫をしますか。 ・呼びかける言葉を入れる。</p>				
	<p><b>4 話し合ったことをもとに自分の原稿を見直す。</b></p> <p>△終わったら、報告の練習をしましょう。</p>	間	直	<p><b>3 話し合ったことをもとに自分の原稿を見直す。</b></p> <p>△終わったら、発表の練習をしましょう。</p>	

<p>・4年生のいい手本を見たり、4年生にアドバイスをもらったりすることでさらにいい発表にしたり、意欲につながったりする。</p> <p>・発表の内容を考える時の視点に沿って交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆伝えたいことが伝わる報告にするための工夫を考えることができる。 【話すこと・聞くこと】 (発表の様子・発表台本)</p> </div>	<p><b>5 教師と話し合ってきた発表を4年生と交流する。</b></p> <p>(4年生の発表を聞く))</p> <p>○4年生の発表を聞いて、今日の2つの視点についてどうでしたか?感想を伝えましょう。 ・～ということがしっかり伝わってきました。</p> <p>△次は、3年生が4年生に聞かせましょう。</p> <p>(発表する)</p>	<p>直 10</p>	<p>直 10</p>	<p><b>4 友達と話し合ってきた発表を3年生と交流する。</b></p> <p>△4年生が3年生に発表を聞かせましょう。</p> <p>(発表する)</p> <p>(発表を聞く) ○3年生の発表を聞いて、資料と資料のつながりなど、アドバイスを伝えましょう。 ・全校生も地域の人も、文化祭が地域とふれ合えるいい行事だと思っていることが資料から伝わってきました。</p>	<p>・発表をきいた感想などを板書し全員で共有する。</p> <p>・構成の面に目を向けて、いい所やアドバイスを伝えるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆理由をもとに話し合うことで、伝えたいことが伝わる資料の順番を考えることができる。 【話すこと・聞くこと】 (発表の様子・話し合いの様子・発表原稿)</p> </div>
<p>・今日の学習での学びをこれからの学習に生かせるようにする。</p>	<p><b>5 今日の学びを振り返る。</b></p> <p>△今日、学習してどんな工夫ができたことがわかりましたか。また、これからどうしたいですか。振り返りに書きましょう。 ・先生から「呼びかけているところがいいね。」と言われて、呼びかける工夫がわかりました。</p> <p>△発表しましょう。</p> <p>△次の時間は、今日の学習を生かして練習します。</p>	<p>直 5</p>	<p>直 5</p>	<p><b>4 今日の学びを振り返る。</b></p> <p>△今日、学習してどんなことがわかりましたか。また、これからどうしたいですか。振り返りに書きましょう。 ・伝えたいことをつたえるためには、資料の順番を考えなくてはならないことを知りました。</p> <p>△発表しましょう。</p> <p>△次の時間は、ポスターの清書します。</p>	<p>・今日の学習での学びをこれからの学習に生かせるようにする。</p>

【第3学年】



【第4学年】



8 成果と課題

【第3学年】

- 全校生に「好きな行事」についてのアンケートを取り、地域の方へのインタビューなどをもとに、「一番人気のあった文化祭の魅力について調べ全校生に報告する」という言語活動を設定した。目的意識・相手意識を明確にすることで、「相手に伝えたい」という思いを高めることができた。
- タブレットのロイロノートを活用し、新しい資料を追加したり、順番を修正したりしながら必要な資料を選んだり、資料を提示する順番を考えたりした。児童は「アンケートの結果」「文化祭が好きな理由」をまとめてみると、「地域の人とのつながり」が魅力であることに気付き、「地域の人と触れ合っている写真」を集め始めた。タブレットを使いながら頭の中を整理し、たくさんの情報の中から必要な情報をつなげていったと考えられる。「どうしてその資料を選んだのか」理由を聞いていくことで、「伝えたいこと



をより分かりやすく伝える」ために深く考えている様子が見られた。

○地域の人にインタビューをして、質問したり、受けて答えたりする学習を取り入れた。メモやインタビューの動画を残しておくことで、発表を考える際に何度も見直し、伝えたいことを伝えるために必要な事柄を選ぶことができた。

○全校生や先生方に参加してもらい報告会を行った。聞いてくれた人の感想から、自分が伝えたいことを伝えることができたという満足感を得ることができた。

▲3年児童は1人で学習しているため、できるだけ4年生と同じ領域の学習を進め、4年生との交流を多く取り入れるようにしている。行き詰まっている時や、時間が余った時は、教師が付箋紙に考えてほしいことを書いて渡すことで、間接指導であっても時間を有効に使いたいと考えた。ただ、教師側の一方的な思いだけでなく、児童が必要とするところに支援ができるような工夫を考えていきたい。



#### 【第4学年】

○「発表内容の順番はこれでいいのだろうか」など、前時までの児童の不安をもとに本時の課題を設定することで、友達と話し合っ解決していく必要感が生まれ、学ぶことの有用性を感じたりすることができた。

○本時では、「伝えたいことが伝わるような構成を考える」ことにねらいを絞って授業を行った。「こういう順番なら、どうかな。」「この資料は前に持ってきた方がいいよ。」などと、友達と対話しながら、実際に資料を並べ替える活動を取り入れた。友達のを取り入れながらも、最終的には自分で納得のいく構成を練り上げる姿が見られた。始めとは違う順番に並べ替えたA児に、「なぜ変えたのか」理由を聞いてみると、A児は「始めのユニバーサルデザインの説明は変わらないんだけど、次に話そうと思っていた自分が見つけたユニバーサルデザインは、最後にした方がいい。だって、まとめにある『お年寄りや障害者向けでなくてみんなにとって便利なもの』というぼくが言いたい所につながるから。」としっかり理由を付けて自分の考えを作り上げることができた。ねらいを絞ったことで、考えさせたいところを深く追究する姿が見られ、つけたい力をより意識させることができた。



○構成を考える際に、「資料のつながり」「接続詞」などの着眼点を示した。これをもとにして構成を考えることで、気付くこと・見えてくることが増え、理由を明確にして自分の考えを作り上げることができた。

○「便利ということ」の学習で学んだことをもとに、自分が「便利だと思う物」についての発表を考えていく際、福祉協議会で働いている保護者の方にインタビューして話を聞くことで、驚きや新しい発見があり、全校生に伝えたいという思いを強めることができた。

▲ポスターセッションを行い、全校生に聞いてもらうことで、相手に分かりやすく伝えようという相手意識をもつことができた。たくさんの感想や質問をもらって、「伝えてよかった」という思いを実感できた。しかし、その場で質問されたことに答えることが難しかった。相手の質問につなげて自分の思いを述べるという経験も増やしていきたい。また、人数が少ないことも有り、発表するだけだったが、聞く側の立場も経験させたい。友達のを聞いて、自分が興味を持ったところに立ち止まって詳しく聞き返したり、自分の経験に関わらせて感想を言ったりする力を伸ばしていきたい。



## 第4学年 国語科学習指導案

白鷹町立東根小学校  
指導者 小口和香

1 単元名 「ポスターを使って発表しよう」  
『調べてわかったことを発表しよう』

### 2 単元目標

- (1) ポスターセッションに意欲的に参加しようとしている。  
(関心・意欲・態度)
- (2) ポスターセッションで、調べたことについて写真やグラフなどの資料をもとに筋道を立てて説明したり、話の中心に気をつけて聞いたりする。  
(話すこと・聞くこと)
- (4) 調べたり、ポスターを書いたりする時に、意味のよくわからない言葉を辞典で調べることができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

### 3 教材について

ポスターセッションによる発表会を作り上げるための過程と方法を流れに沿って実施できるよう、ステップごとに事例とポイントをあげて学べるように構成する。初めに、ポスターを使った発表の特徴を理解し、発表会の進め方を理解する。テーマが明確になったら、準備から発表会まで、①テーマを決める、②テーマに沿って、調べることを考える、③文章や写真、絵、図、グラフなどを効果的に視覚化してポスターにまとめる、④発表の練習をする、⑤ポスターを使って発表会をする、というステップを実際の流れに沿って活用し、ポスターを使った発表の特徴と発表の進め方を理解させていく。また、本単元は、カリキュラムマネジメントの観点から社会科の学習と合科的に取り扱っていく。

### 4 児童について (男子16名、女子15名、計31名)

4年生になって、話す・聞く領域の単元は、「写真をもとに話そう」と「クラスで話し合おう」を学習してきている。どちらの単元でも、「話す」ことについては、自分の考えを自分の言葉で、発表することができている児童が多かった。しかし、自分の発表に精一杯になるあまり、相手を意識して話ができている児童は少なかった。また、「聞く」ことに関しても、聞いてはいるが、自分の考えと比べたり質問や感想を考えたりしながら聞くことができている児童はまだまだ少なかった。これは、国語の学習の時間以外にも共通して言えることで、全ての学習活動の中で指導をしているところである。

### 5 指導にあたって

全体テーマ 課題解決の過程において、つなげて考え、根拠を明確にして表現する力の育成 国語科のポイント 目的意識、相手意識を明確に持つことができる工夫
---

本単元では、「話すこと・聞くこと」の指導事項ウ「相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと」、指導事項エ、「話の中心に気をつけて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること」を重点的に指導していく。そこで、本単元でつけたい力を「自分の伝えたいことが明確に伝わるようにまとめ方や話し方を考え、効果的に伝える力」とし、そのために、言語活動として、「ポス

ターにまとめて発表すること」を位置付けた。ポスターで伝えるには、伝えたい要点をおさえて簡潔に表現する必要がある。社会科の調べ学習で調べたたくさんの情報や資料の中から、自分たちが一番伝えたいことを選び、ポスターの内容を考えることができるようにする。

本単元では、社会科の時間で学習したことのまとめとして、「山形県内の市町村について学んだことをおうちに人に伝えよう」ということで取り上げる。これまで学習した内容をおうちの人へ、授業参観のときに発表するという活動目標を掲げることで、より目的意識、相手意識明確にさせ、どのようにすればおうちの人にわかりやすく伝えることができるか考えさせながら学習を進めていく。3人1組のグループで活動していく中で、互いにかかわり合い、比較したり分類したりして、集めた材料が話す目的に合っているかどうかを意識しながら確かめ、より適切なものを見つけていくことができるようにする。

また、聞き手の指導にも力を入れていく。そのために、おうちに人への発表会の前に何度かお互いのミニ発表会を行い、自分の考えを持って聞く意識を育てていく。

## 6 単元の指導と評価の計画 (全8時間 本時5/8)

次	時間	学習活動	【評価の観点】評価規準 (評価方法)
第一次	1	単元やリード文を読み、資料を効果的に活用して発表する方法について話し合い、学習の見通しを持つ。 「ポスターセッション」のやり方を知る。	【関】学習の流れをつかんで、発表の目的と内容を理解している。 (発言の内容や観察)
	2	グループで伝えたいことを話し合う。	【話】グループで話し合っって伝えたいことを決め、それに適した表現方法を考え、ポスター作りに生かそうとしている。(ワークシート、観察)
第二次	3・4	ポスターの内容を考え、効果的な作りになるように工夫してまとめる。	【伝】調べたりポスターを描いたりする時に、意味のよくわからない言葉を辞典で調べている。 (ワークシート、観察) 【話】社会科で学習したことをもとに、自分たちの伝えたいことを絵や写真やグラフなどを使い、工夫してポスターにまとめている。 (ポスター、ワークシート)
	5 (本時) 6	発表の練習をする。 グループごとに発表の仕方や内容についてアドバイスし合う。	【話】聞き手を意識した発表の仕方を練習したり、友達のアドバイスを聞き発表原稿を見直したりしている。 (発表、発表原稿) 【話】友達の発表を聞き、内容や話し方のよさを伝えたりアドバイスしたりしている。 (発言)



	7	ミニ発表会をする。 他のグループの発表の仕方や内容についてよさを伝えたり助言したりする。	【話】資料を活用しながら、大事なことが伝わるように話し方を工夫して発表している。 (ポスター、発表、ワークシート) 【話】話の中心に気をつけてメモを取りながら聞き、質問したり自分の考えを伝えたりしている。 (ワークシート、発言) 【話】友達の発表を聞き、内容や話し方のよさを伝えたりアドバイスしたりしている。 (発言)
第三次	8	おうちの人に発表会をする。 学習のふりかえりをする。	【話】資料を活用しながら、大事なことが伝わるように話し方を工夫して発表している。 (ポスター、発表、ワークシート)


\*ポスターにまとめるための調べ学習は、社会科の時間で行う。



## 7 本時の指導の実際

### (1) 目標

グループで発表の練習をして聞き合い、よさを伝えたり助言したりする活動を通して、ポスターを使ってわかりやすく話すための工夫について考え、発表に生かすことができる。

### (2) 指導過程

時間	学習活動	○発問 △指示 ・児童の反応	・留意点 □評価
20分	1 前時を振り返り、本時のめあてをつかむ。 	△今日のめあてを確認しましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて 発表の練習をして、ポスターを使ってわかりやすく話すためのくふうについて考えよう。</div> ○ポスターを使って、一番伝えたいことは何ですか。 ・東根市では、多くの果樹が作られているということです。 ・山形市の人口が、他の市町村よりも人口が多いということです。 ○一番伝えたいことを伝えるために、どんなことに気をつけて発表しますか。 ・ポスターの話しているところを指差しながら	・よさやアドバイスを伝え合うために話し方のポイント考えさせ、児童の言葉でまとめて確かめていく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【うまく伝わる話し方のコツ】 ①順序 ②資料を見せながら ③強調、抑揚 (声の強弱、速さ、間) ④聞き手を見て</div>

		<p>話します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を見て話します。</li> <li>・一番伝えたいことを最初に話します。</li> </ul> <p>△「話し方のコツ」をもとに、発表原稿に話す順番や気をつけることを書き込みましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時では特に、①～③を意識させる。</li> </ul>
20分	<p>2グループごとに発表の練習をして、よいところを見つけたり直したほうがよいところをアドバイスしたりする。</p> 	<p>△グループごとに発表の練習をします。</p> <p>△聞いているときは、一番伝えたいことが伝わっているか考えながら聞きましょう。</p> <p>△発表が終わったら、発表のよかったところを伝え、もっとわかりやすく話すためのアドバイスもしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・順序を変えてみたらいいんじゃないかな。</li> <li>・～のときに、写真を指して話した方がわかりやすいよ。</li> <li>・～のときに、もっと大きい声で、ゆっくり話すと強調できると思うよ。</li> </ul> <p>△アドバイスされたことは、自分の発表原稿に書き加えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し手と聞き手を交換しながらグループ内で順番に発表し、アドバイスを受けた後に、もう一度発表させるようにする。</li> <li>・聞き手は、一番伝えたいことを聞き取ったり、感想を発表者に伝えたりする。また、「話し方のコツ」に沿ってアドバイスする。</li> </ul> <p>□ポスターを使ってわかりやすく話すための工夫について考え、発表に生かすことができる。(様子)</p>
5分	3学習を振り返る。	<p>△今日の学習の振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日見つけたコツの中で、話す順序に気をつけて発表することができました。</li> <li>・友達のアドバイスを聞いたら、より伝わる発表になったと思います。</li> </ul> <p>△次の時間は、④を意識して、伝えたいことがさらに伝わる発表をめざしていきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いを通して、自分のスピーチがどのように変わったかを中心に振り返りを書く。</li> </ul>

## 8 成果と課題

○つけたい力を明確にして、視点を絞ったことによって、児童もそれを意識して取り組むことができた。

また、児童により意識させるために、教室掲示を活用したことや前時のふり取りを取り上げたことが効果的だった。

▲「一番伝えたいことが伝わるように」を意識して、ポスターを作り、話す順序を考え、発表をさせたつもりだったが、ポスター作りにグループで取り組んだこともあり、一番伝えたいことを伝えるためのポスターの内容と話し方が一致しないところがあった。

▲本時では、同じグループの中で聞き合う学習を組んだが、話す順番の工夫や伝えたいことが伝わる工夫を助言し合うためには、違うグループで聞き合う場面を作ることも必要だった。